

火球の観測を奨む

Observations of fireballs Desirable.

小 横 孝 二 郎 *Koziro Komaki.*

火球とはどんなものであるかといふに、普通木星乃至金星程度より明るい流星をさしてゐる様であるが、その吟味は別として、今観測を希望するものは、この普通の意味のものである。従つて“大流星”と呼んでもよいわけである。

一般の流星に比して、火球(太陽星)は明るい爲、人目をひくが、同時に明るさの變化、特殊な光彩や變化、徑路の異常性等を伴ふもので、其の観測は流星に比して特別な意義を有するものである。人目をひく爲に、同一の火球を多人数のものが観測する可能性が多く、少しく天文智識を有するものが観測すれば、色々重要な意義をもつ結果が得られるわけである。即ち火球の地球大氣内の實徑路や、其の運動の狀況が知り得る外、地球の大氣の内容について、種々なる智識を與へる點が少なしとしない。最近、電離層や成層圏等と相關聯して、戦争科學に何等かの寄與をなすものである事是否定出来ないものであろう。

毎月いくつかの火球の報告に接してゐるが、同一火球の観測は稀であり、隨つて、實徑路の算定やその他について研究を進める事が出来ない。この點、私は甚だ残念に思ふものであるが、會員の方々が少し氣をつけて直接間接にこの種の報告をして下さるならば、上記の目的を達するものは遙かに増大するものであると思ふ、恐らく大部分の方は、火球を見られても、看過せられるのであらうと思ふ。“免倒だ”とか“厄介だ”と申されないで、紙のはしにでも、スケッチをとられ、出來得るならば詳細な記録をとめていただきたい。こうした機會は、夜の散歩のつれづれにでも、夏の涼み臺談義の機會でも、逸せず、實行していただけたらと思ふ。本人には少し大きい流星位ひと思はれるものが、報告をいただいて見て、意外に重要なものである事が多いのだから。

火球の報告に最も重要なものは、何と云つても星座を背景に入れたスケッチである。發光點や消滅點の計算はこちらでやるから、無理に求めていただく必要はない。但し光度の變化、分布の狀態、光彩の觀察等は出来るだけ詳細にやつていただきたい。痕やその移動があれば30秒乃至一分間隔でやはり星座を背景とするスケッチをとめていただきたい。これは甚だ重要なもので、上層大氣中の氣流の流れの方向や遲さを知る、有力な資料となるのである。

スケッチを別として、記録して報告すべき事柄は、

出現時刻及精度、精度(スケッチに於ける火球の位置の)、繼續時間、光度

及變化、速さとその變化、色彩及其の變化、痕、爆發分裂（これは出來得ればスケッチに入れたらよい）、音響の到達時間、其他。

なほ参考事項として、観測時に於ける氣象状態、清澄度を記録し、最後に観測者及観測地點（出來得れば経緯度及海拔を併記）を記入する。

去る五月11日に出現した如き晝間の火球は、観測機会は極めて稀であるが、それは副値も大である。スケッチは重要であるが、其の出現及消滅の位置は経緯儀（なければ観度器と磁石で大抵の値を求める丈けでよい）で方位角と高度を求めて報告されたい。

ラヂオ報時の増加 去る十一月1日よりラヂオ放送の時刻番組が變更になつて、時刻の放送もこれまで一日4回から下の如く10回に増加された。これはわれわれの観測にも大へん好都合なことである。

6時、7時、9時、12時、13時、15時、17時、18時、19時、21時、
しかし今まであつた22時の時報がなくなつたのは不便である。

頒布印刷物

| | | | |
|---------------------|----------------|-----------------------------|-----|
| 反射望遠鏡(○A5判) | 中村 要(著木邊補訂) | 價 3.00 | ㊦20 |
| ○北海道日蝕寫眞(昭和18年二月5日) | 木邊成麿撮影 | 四ツ切 2.80 不要 三枚一組 1.90 不要 | |
| ○南宋天文圖(コロタイプ版) | | 1.90 | 不要 |
| ○天文寫眞(説明書附) | 第1輯 (17種) (一枚) | 2.80 | 不要 |
| | 第2輯 (4種) (一枚) | 1.90 | 不要 |
| | 第3輯 (2種) (一枚) | 7.50 | 不要 |
| ○天界入門 | 山本一清編 | 0.20 | 4 |
| ○天體要綱一覽表 | 山本一清編 | 0.10 | 4 |